締め切り
12月11日

篆刻研究　選評：佐藤煒水

次号課題「丁未」

早いもので、令和も八年歳晩を迎えることとなった。そこで、落款の参考になればと思い、来月の課題は今年の干支である「丁未」とした。昨年も書いたが、干支は「十干十二支」あるいは「天干地支（てんかんちし）」ともいい、十干と十二支を組み合わせた六十を周期とする数詞のことをいう。

来年の干支は音読みで「ていび」、訓読みで「ひのとひつじ」と読む。「丁」釘の頭を表す文字で「未」は木の先端を表す文字である。

●出品資格特に制限なし。
●印（印影）の大きさは3センチ以内（形は自由。楕円・長方形等も可）。
●印影を白の半紙1／4に押印し、右側に条幅出品券を貼付。
●課題文字以外の随意作品も出品可。消しゴム印も可。

参考作品



優秀作品



塚本青娥

凛とした直線と朱白のバランスが妙。



井上桃華

雅号の「桃」をデフォルメした印。奇抜さが光る。



田中夕美子

文字に多少の疑問は残るが大らかな作風が魅力。



藤原敏克

初出品の作、将来に期待したい。

締め切り
12月11日

硬筆研究

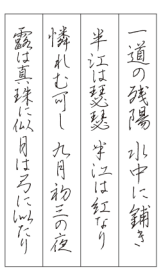
●出品資格：一般10級～師範。
●**B５の用紙**に縦書で四行に書くこと。（文字送りは自由）（行書、草書がまじってもよい。ただし漢字、ひらかなの変換は不可）
●作品右下に条幅作品出品券を貼付。

次号課題

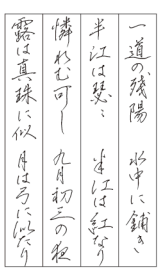
独り異郷に在って異客と為り
佳節に逢う毎に倍ます親を思う
遥かに知る　兄弟高きに登る処
遍く茱萸を挿して一人を少くを

王維「九月九日憶山東兄弟」
※漢詩の訳をブログに掲載しています

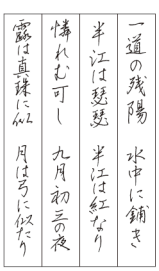
優秀作品



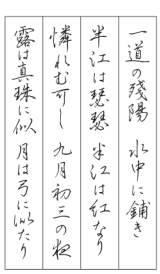
中川千賀子



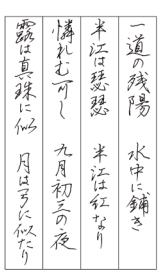
蜷川麗耀



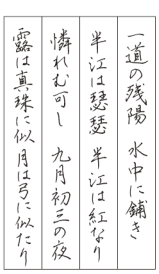
今井清翠



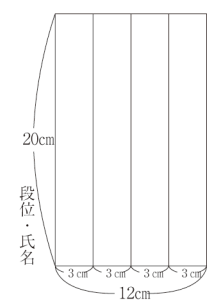
澤田桃翠



藤井潮光



本多正幸



※用紙は検定試験の（ロ）の使用も可。

※予告（十二月号）は44ページに掲載